

(社) 日本原子力学会  
第62回倫理委員会議事要旨

日 時 平成24年3月20日(火) 09:30~12:00  
場 所 福井大学 文京キャンパス 工学部1号館 112M 講義室  
出席者 北村委員長、大場副委員長、作田幹事、内山委員、柴田委員、辻委員、  
中野委員、弘津委員、宮越委員、山本理事(10名、委員名簿順)  
オブザーバー: 西條美紀先生(東京工業大学)

配布資料

- 資料62-1 第61回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料62-2① 2012年春の年会 企画セッション委細について
- 資料62-2② 2012年春の年会(3/19-21) 企画セッション提案書
- 資料62-2③ 予稿「原子力のコミュニケーションデザイン—対話と説得の違いを踏まえて—」
- 資料62-3 資料なし
- 資料62-4 工学倫理教育(第16回倫理研究会) 報告書(案)
- 資料62-5 提案書

議事

1. 資料62-1により前回議事要旨(案)を確認し、承認された。
2. 資料62-2①②③により中野委員から2012年春の年会企画セッション委細についての説明があった。中野委員が司会、内山委員が質問事項の板書、グルーピング、北村委員長と大場副委員長が質疑応答を行うこととした。
3. 資料62-3により大場副委員長から技術倫理協議会の状況説明があった。協議会のコアメンバーが不在、意思決定が不透明という課題もあり、また事務局の日本工学会が公益法人となることから、今後、活動計画をきっちりと立てていく必要がある。原子力からの参加は望ましいが、現在担当している大場副委員長の参加が難しい状況にあるため、当面、東京在住の山本理事、宮越委員、柴田委員が参加することとした。他の委員もできる限り参加協力することとした。
4. 資料62-4により作田幹事から工学倫理教育(H24.1.20, 福井工業大学)の報告書(案)の説明があった。本案に対するコメントなどを作田幹事に連絡することとした。
5. 資料62-5により宮越委員から倫理委員会によるセミナーなどの開催活動の提案について説明があった。論点は大きく次の3項目、①草の根活動の意義、②今、倫理委員会は何をすべきか、③予算獲得の必要性と具体的内容であり、色々な意見が出された。①本来は、学会企画委員会が組織だてで行うことであり、倫理委員会が行うことではない。

倫理委員会の有志がやってみて、後は学会に引き継ぐと言う程度のものになる。学会に期待されていることは多いが、応えられていない。理事会、広報情報委員会がもっと活動しないとイケない。②倫理委員会としては、整理し切れていない安全文化に向き合うことが必要。倫理が整理できていないともいえる。杉本先生は、原子力は倫理を捨てたのかと発言されている。規制との関係や規制のあり方も重要。③予算は、50万円程度／年を確保しないとイケない。1回10万円を5回程度計画する、または3万円程度／人・社の会費制という考え方もある。安全文化の担い手としての意識を持っている人が少ないのでは。こういう核となる人材の育成が重要。品質保証に安全文化を入れようという動きもある。安全最優先だけでは駄目で、コストと安全性とのバランスをとった意思決定はどの断面でも必要で重要。以上の議論を踏まえ、5～6月に東京において、安全文化をテーマとしたセミナーを開催することとし、その企画書案は宮越委員が作成することとなった。講師については、杉本先生、技術士会、メーカなど幅広くあたることとした。また、セミナーでの議論は、出版することも視野に入れることとした。

6. 倫理規程の改定については、セミナー開催計画と並行して、今後とも検討していくこととした。

7. その他の議題として、以下の議論があった。

(1) メーリングリストの運用変更について大場副委員長から提案があった。現行のメーリングリストが3月末で使用できなくなることから、ヤフーに移行することとし、必要な手続きは大場副委員長が実施することとなった。

(2) ケースブックの保管の扱いについて作田幹事から説明があった。約800冊の在庫があり、学会事務局の保管スペースを圧迫していることから、各委員がその一部を引き取り保管することとした。引き取ったケースブックは各委員で有効に活用することとした。

(3) 2012年秋の大会(広島大学)企画セッションの提案については、セミナー開催計画を踏まえて作田幹事が企画提案書(案)を作成することとした。今回は、外部講師にお願いすることにこだわらないこととした。

(4) 大場副委員長から以下の項目について説明があった。

- ・日本原子力学会は一般社団法人化に伴い定款および細則を改定しており、これを受け現行の倫理委員会規程の一部を改訂する必要がある。
- ・研究費にかかる利益相反問題で、学会としても注意喚起文書を出す必要がある。メール審議を行いたいので協力をお願いします。
- ・過去の倫理規定制定委員会資料を大場副委員長が学会事務局から引き継いでいるので、興味のある方は連絡することとした。

8. 次回倫理委員会は、平成24年5月10日(木)13:30～ 学会事務局で開催することとした。

以上